

## MSX用 MMC 互換メモ리카ードデバイス



### MSX 似非 SDisk 使用説明書

猫の手リモコンもよろしく！ Produced by にが HP

**ご注意** 本機は同人ハードウェアです。ご使用には MSX-DOS2 が動作する環境と、ある程度の知識が必要です。アフターサポートはありませんのでご了承の上でお求めください。



本書 PDF file

### 概要

本機はつじかわ氏考案の「MegaSD」を参考に設計した SRAM 内蔵 MMC 互換メモ리카ードデバイスです。MSX-DOS2 互換の Nextor からアクセス可能なフルサイズの SD カードスロット 2 基と、1024kB のバッテリーバックアップ SRAM を搭載しており、OS 領域を除いた 896kB 容量の似非 RAMDisk として利用できます。似非 RAMDisk はシステム起動時から認識され、MSX の電源を切っても内容が保持されます。ヒストリやテンポラリファイルを高速に読み書きでき、安定したメモ리카ードアクセスと併せて、MSX におけるファイル操作の快適性の向上に貢献できます。

MSXturboR の R800 モードにおいては、turbo boost patch により高速にメモ리카ード・SRAM アクセスができます。

### 対応機種

- ・ MSX / MSX2 / MSX2+ / MSXturboR  
要マップメモリ 128kB 以上 (内蔵・外付け可)
- ・ MMC (Multi-Media Card) 互換メモ리카ード

本機の出荷時には SRAM には何も書き込まれていません。システムのインストールには MSX-DOS(2) が動作する環境と WindowsPC が必要です。

本機にインストールされる OS 「Nextor」の運用には 128kB 以上のマップメモリが必要ですが、本機に搭載している SRAM はマップメモリの代わりにはなりません。MSX1 でご使用の場合は MSX1 に対応しているマップメモリが必要です。

MMC は SD カードと互換性があります。

本機は内部でスロットを拡張していないので、拡張スロット上でもご使用になれます。

SRAM のバンクレジスタの仕様は ASCII バンクと一部異なるため、既存の MegaROM ソフトのインストールには向きません。

### 各部の名称



#### ★SRAM 切り離しスイッチ

システム再インストール用のスイッチです。押ししながら MSX を起動すると本機にインストールされたシステムが起動しなくなります。

システムの動作中は押ししないでください。

#### ★アクセス LED

カードスロットアクセス時に点灯します。アクセスされたスロットにより 2 色に光ります。

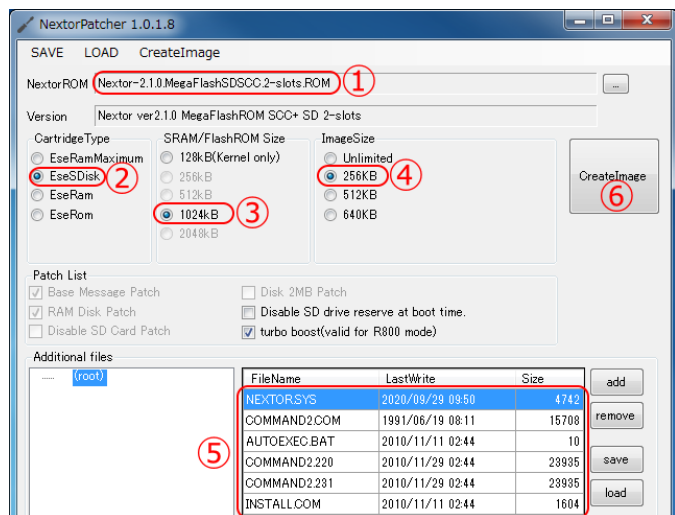
### ファイルシステム「Nextor」のインストール

1) Konamiman 氏のサイトの「The Nextor Kernel」から「For MegaFlashROM with 2 SD card slots」の Normal version ROM(v2.1.0)のほか、NEXTOR.SYS Full version(NEXTOR.SYS.japanese)を入手します。「COMMAND2.44 by TNI」をクリックしてリンク先の CMD-244.LZH もダウンロードします。

URL: <https://www.konamiman.com>

2) MSX-DOS2 の COMMAND2.COM は別途 MSX-FAN 誌の付録 FD 等から入手してください。

3) 本機のサポートページ(<http://niga2.sytes.net/sp>)の「NextorPatcher」を WindowsPC で実行します。



先にダウンロードした Nextor の Kernel ファイルを①に登録し、②Cartridge Type を ESeSDisk、③SRAM/FlashROM Size を 1024kB、④ImageSize を 256kB に設定し、Nextor のシステムファイル名 NEXTOR.SYS.japanese を NEXTOR.SYS に変更して COMMAND2.COM と共に⑤に登録します。CMD-244.LZH を展開して図の通り⑤に追加してください。⑥CreateImage をクリックして、適当な名前を付けて ROM ファイルを保存します。

4) MSX-DOS ディスクに NextorPatcher で作成した ROM ファイルと、本機サポートページからダウンロードした NGLOAD.COM をコピーし、本機を MSX スロットに挿入して MSX-DOS を起動します。

5) 下記コマンドで本機に ROM ファイルをインストールしてください。

NGLOAD filename.ext

6) インストール後にシステムをリセットすると Nextor が起動し、自動的に COMMAND2.COM v2.44 のアップデートパッチが開始されます。正常に v2.44 が作成できたら COMMAND2.2xx と INSTALL.COM と AUTOEXEC.BAT は不要なので削除してください。

7) 再度システムをリセットすると Nextor が起動し、本機の似非 RAMDisk、およびメモ리카ードスロットにアクセスできます。

NextorPatcher の詳しい使い方についてはサポートページのチュートリアルもご参照ください。

### ・対応メモ리카ード

本機は MMC (Multi-Media Card) の SPI モードによりメモ리카ードにアクセスします。SD カードは MMC と形状互換性があり、SPI モードもサポートしているため本機でも使用できる…と思いますが、大人の事情により「SD カード対応！」とは言えないことになっています。SDHC カードは FAT16 でフォーマットした 4GB 以下のパーティションが利用可能…と思いますが、無駄にクラスタサイズが大きくなるので通常は 2GB 以下のメモ리카ードをお勧めします。

Wi-Fi 機能付きの FlashAir も本機カードスロットに挿入できますが、設定方法についてはゆうくんさんの blog 記事等を参照してください。メモ리카ードは製品により相性が発生することがあります。動作が安定しない場合は別のメモ리카ードでお試してください。

### ・メモ리카ードのフォーマット

WindowsPC 等の OS 標準のフォーマッターを使ったメモ리카ードは正しく認識できないことがあります。本機で使用するメモ리카ードは Nextor BASIC でフォーマットしてください。Nextor から BASIC に移行し、CALL FDISK コマンドで disk partitioning tool が起動します。ここで 4GB の SDHC カードも FAT16 フォーマットできます。Nextor BASIC でフォーマットしたカードは WindowsPC でも読み書きできます。

### ・似非 RAMDisk のバックアップ

本機のシステムは SRAM 上にインストールされるため、プログラムの暴走やハードウェアのトラブルにより、意図せず内容が書き換わることがあります。システム構築後は定期的なバックアップの作成をお勧めします。バックアップとリストアには、サポートページ(<http://niga2.sytes.net/sp>)の MGSVLD1 をお使いいただけます。

### ・クロックアップ機での使用上の注意

本機は FS-A1WX 系の 3 倍速クロックアップ改造機でもご使用になれますが、外部スロットのクロックを CPU クロックと同期するように配線してください。

### ・謝辞ほか

オリジナルの MegaSD を考案し、1ChipMSX を通じて技術情報を開示された似非職人工房のつじかわ氏に感謝します。当方は似非職人工房とは関係ありません。本機の開発にあたり、裕之さん、ゆうくんさん、takeda さん、Mikasen さん、OKEI さん、れふていさんには性能や安定性向上、関連ソフトの作成、動作検証や材料調達に至るまで多大なご協力を頂きました。ありがとうございました。

**MSX** は MSX ライセンシングコーポレーションの登録商標です。

### 作者の WEB サイト

<http://niga2.sytes.net>

自宅サーバーなので時々落ちていることがあります。本機は原則ノンサポートですが、ご意見がありましたら BBS へ書き込んでみてください。

